

中 日 19.12. 7(金)



十二月定例県議会は六日、二日間の日程で一般質問が始まり、神戸洋美、原欣伸、山下史守朗(自民) 浜崎利生、小山たすく、仲敬助(民主) 渡会克明(公明)の七氏が県側の姿勢をたじた。県は、九月までのHIV感染者・エイズ患者の発生報告が百五人に上り、年間で過去最多になるとの見通しを明らかにした。二十、三十代が七割を占めており、若者を中心にとする啓発活動などを強化する方針だ。

(石川浩、山本真嗣)

教員の健康講座

eラーニングで

【ネットで教員のメンタルヘルス講座】

伊藤敏雄教育長は精神性疾患にかかる教員が増えていることへの対策として、二〇〇八年度から

インターネットを使った教員研修用のメンタルヘルス講座を実施する考えを示した。渡会氏の質問

に答えた。

県教委では、これまで県総合教育センター(東郷町)などで実施してい

た教員研修の一部を、〇八年度からコンピュータを使って学ぶ「eラーニング」に移行する。

メンタルヘルス講座はその一つ。教員を取り巻くストレスや、うつ病への対応の仕方などを学ぶ。